



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

12月28日・1月4日合併号（294号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

再起模索する被災各地を追う

12月31日(水)=1面

2026年は能登半島地震Ⅱ写真①Ⅱから2年、東日本大震災Ⅱ写真②Ⅱから15年、熊本地震Ⅱ写真③Ⅱから10年を迎えます。

発生からの月日は違いますが、それぞれの被災地で再起を模索する人があるのは変わりません。

石川県輪島市の限界集落では、被災した旅館の復活を目指す3世代8人家族がいます。

連載「再起 私道 能登」東日本「熊本」では、被災各地でそんな人々の姿を追います。



③



①



②

新年を駆ける

3日(土)=運動面



前回大会で一斉にスタートする選手たち

駅伝日本一を争う「ニューイヤーズ大会」(日本実業団陸上競技連合主催、毎日新聞社など共催)が2026年1月1日、前橋市の群馬県庁を発着点とする7区間100キロのコースで開催されます。

全国6地区から、通常より3チーム多い40チームが出場。70回の記念大会に伴い、一部の地域で出場枠が増えました。元日の上州路を駆け抜ける選手たちの快走が期待されます。



グローバルな危機 どう対応

3日(土)=1面

2026年の年間連載企画「テラ・クライシス」をスタートします。

今、世界ではグローバルゼーションや国際協調主義への逆風が強まり、トランプ米政権に象徴される「国益優先主義」が勢いを増しています。一方で、1国では解決

が不可能な地球規模の危機が山積しています。

分断される世界は今後、「グローバルな危機」に対応できるのか——世界の現場から探ります。第1部は差し迫った危機「気候変動」を巡る政治的分断や国家間の思惑、争いなどを描きます。

特集ワイド

この国はどこへ

作家・赤川次郎さん

5日(月)=タ刊2面



識者らへのロングインタビューをもとに、私たちの社会の「いま」を読み解き、日本の針路について考える、タ刊特集ワイドの長寿企画「この国はどこへ」。

新シリーズは「試練の年に」と銘打って、年の始まりに、各界の才人たちが縦横無尽に論じます。

初回はデビュー50年を迎える作家の赤川次郎さんⅡ写真。作家の責任や世の中との向き合い方について、淡々と、そして柔らかに語ります。